

『その油断 火から炎へ 災いへ』

春の火災予防運動三月一日から七日

三月一日から七日までの一週間、春の火災予防運動を実施します。

この運動は火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、町民の皆さんに、防火防災に関する正しい知識と防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生・拡大を防止し、尊い生命と貴重な財産を守ることを目的とします。

住宅防火対策

平成十四年中の住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災の件数は一七、二七四件（放火火災を除く）発生しており、これは建物火災件数（三〇、二八二件）の五七・〇割を占めています。

また、住宅火災による死者は九九二人（放火自殺者等を除く）で建物火災

による死者の八七・九割を占めています。

さらに、死者の発生状況を年齢別にみると、六五歳以上の高齢者発生率が他の年齢層に比べて高くなっています。

そこで、火災の発生を防ぎ、また、万一火災が発生した場合には、少しでも早く知るために、住宅用火災警報

一建物火災に占める住宅火災の割合一

建物火災	住宅火災(件)				住宅火災以外の建物火災(件)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
30,282 (100.0%)	17,274 (57.0%)	11,866 (68.7%)	4,300 (24.9%)	1,108 (6.4%)	13,008 (43.0%)

(注) [] は、住宅火災の件数(17,274件)に占める割合

住宅防火

いのちを守る 7つのポイント
～3つの習慣・4つの対策～

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用の防災機器等のいろいろ



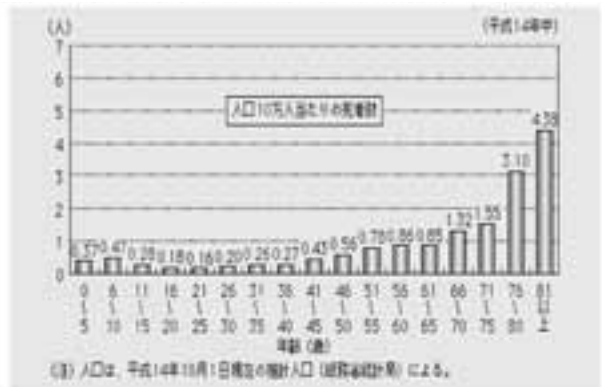
放火防止対策

放火による火災は、平成九年以降六年連続して出火原因のトップとなっており、放火の疑いによる火災をあわせると全火災の二二・九割を占め年々増加する傾向にあります。

器、住宅用消火器、住宅用スプリンクラー設備などの住宅用防災機器を備えたり、安全装置付の暖房器具・調理器具や、燃えにくく処理された寝具・カーテン等を使用するなど、「安全な住まいの環境づくり」を進めましょう。



—火災による年齢階層別死者発生状況(放火自殺者等を除く)—

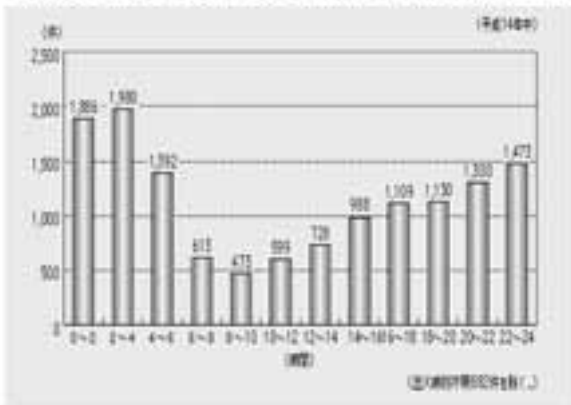


—平成9年～14年までの出火原因とその件数・構成割合—

順位	平成9年			平成10年			平成11年		
	出火原因	出火件数	構成割合 %	出火原因	出火件数	構成割合 %	出火原因	出火件数	構成割合 %
1	放火	7,222	11.7	放火	7,294	13.4	放火	7,481	12.8
2	たばこ	6,906	11.2	たばこ	5,690	10.4	たばこ	6,415	11.0
3	こんち	5,893	9.5	こんち	5,530	10.1	こんち	5,530	9.4
4	火の聲	5,654	9.1	火の聲	5,173	9.5	火の聲	5,464	9.3
5	火事	4,430	7.2	火事	2,719	5.0	火事	3,420	5.8
6	火蓋	2,727	4.4	火蓋	2,196	4.0	火蓋	2,254	3.9
7	ストーブ	1,905	3.1	ストーブ	1,847	3.4	ストーブ	2,002	3.4
8	火入れ	1,370	2.2	電灯・電線等の配線	1,365	2.5	電灯・電線等の配線	1,377	2.4
9	電灯・電線等の配線	1,282	2.1	電気機器	1,017	1.9	火入れ	1,132	1.9
10	機器類	1,113	1.8	マッチ・ライター	974	1.8	マッチ・ライター	1,034	1.8
総出火件数	61,887			54,514			58,526		

順位	平成12年			平成13年			平成14年		
	出火原因	出火件数	構成割合 %	出火原因	出火件数	構成割合 %	出火原因	出火件数	構成割合 %
1	放火	7,817	12.5	放火	8,120	12.8	放火	8,216	12.9
2	たばこ	6,871	11.0	たばこ	6,769	10.6	たばこ	6,779	10.7
3	火の聲	6,035	9.7	火の聲	6,280	9.9	火の聲	6,337	10.0
4	こんち	5,636	9.0	こんち	5,962	9.4	こんち	5,958	9.4
5	火事	3,969	6.4	火事	4,051	6.4	火事	4,410	6.9
6	火蓋	2,538	3.7	火蓋	2,275	3.6	火蓋	2,237	3.5
7	ストーブ	1,865	3.0	ストーブ	1,974	3.1	ストーブ	1,782	2.8
8	電灯・電線等の配線	1,604	2.6	火入れ	1,544	2.6	火入れ	1,683	2.6
9	火入れ	1,378	2.2	電灯・電線等の配線	1,531	2.4	電灯・電線等の配線	1,511	2.4
10	マッチ・ライター	1,071	1.7	マッチ・ライター	1,047	1.6	マッチ・ライター	1,101	1.7
総出火件数	62,454			63,591			63,651		

—放火及び放火の疑いによる火災の出火時刻別件数—



近年の放火は、相手と場所を選ばない無差別なものが多いため、一人ひとりが防火対策を心掛けるだけでなく、地域ぐるみの放火防止対策を積極的にを行い、放火されない・させない環境づくりを進めましょう。

放火防止 五つの心得

- 家の周りは常に整理整頓し、雑誌、新聞紙、紙くずなどの燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ゴミは決められた収集日の決められた時間に出すことを徹底しましょう。
- 建物周囲の暗い場所には、外灯を取り付けるなど家の周りを明るくしましょう。
- 物置、車庫などは鍵をかけ、外出するときに就寝時には戸締りを必ず確認しましょう。
- 自転車や、車庫などのボディカバーは、防炎性のものを使いましょう。
- 町内会・自治会や周辺の事業所などの連携により、家庭や地域が一体となって放火に対する警戒心を高め、放火されない環境をつくりましょう。

問合せ 消防総務課予防係

☎八七六一〇一八〇